

JARL

香川クラブ報

No. 404 平成27年12月15日



J A 5 Y D E

忘年会のご案内

今年もお忙しいとは思いますが、忘年会を企画しましたので下記の通り開催致しくご案内申し上げます。

今年の出来事、久しぶりの思い出話等、一杯かたむけながら如何でしょうか？
なお、今回申し訳ありませんが準備の都合上 12 月 17 日（木）迄に出欠のご返事を宜しくお願い申し上げます。

日 時 12 月 22 日（火）午後 7 時～
場 所 神童ろ（わらじろ）（飲み放題 2 時間）
高松市西の丸町 5－8
TEL 050-5265-4834
会 費 男性 5,000 円
女性 4,000 円
連 絡 先
J H 5 E Z B
J E 5 P B O



クラブミーティングの報告

JG5JXW

去る11月12日(木)成合町の「不二の屋」でクラブのミーティングが開催されました。三木副会長の開会宣言で時間通りに始まり、今年は高松市震災対策総合訓練での無線運用が実施されないとの報告がありました。

次に香川マラソンコンテストのクラブ局(JA5YDE)の運用について「15日間の運用担当者を決めて運用するので希望者や運用可能者は是非お願いしたい」との話があり協議の結果、下記の予定で決まりました。クラブ局の健闘が期待されます。



2015 香川マラソンコンテスト (JA5YDE) 運用担当者表

日	12/1～12/2	12/3～12/4	12/5～12/6	12/7	12/8
運用者	JA5TFJ	JA5TOP	JG5JXW	JA5AHM	JA5IJL
日	12/9	12/10～12/11	12/12～12/13	12/14～12/15	
運用者	JI5VUZ	JH5EZB	JI5XTP	JH5LYW	

※ いずれも交代は08:00時とする。

続いて忘年会をどうするか意見が求められ、今年は市原さんからのアイデアにより「神童ろ(わらじろ)」で行うことに決まりました。日程については平日に実施して欲しいという要望もあり12月22日(火)に行うこととなり費用なども決めました。

・詳細は「忘年会のご案内」を参照

次にJARL創立90周年特別記念局8J590Yを平成28年1月1日～15日の間、わが香川クラブで運用することとなり、運用担当者の割当を決めました。

特別記念局「8J590Y」運用担当者表

日	1/1～1/2	1/3	1/4～1/6	1/7～1/10	1/11～1/15
運用者	JG5JXW	JA5TFJ	JH5EZB	JI5XTP	JH5LYW

※ いずれも交代は08:00時とする。

またその他、天野名誉会長から体調不良に伴い高松市震災対策総合訓練の連絡窓口、また高松市趣味協会の理事を変わって欲しい要望があり、以下の様に変更となりました。

- ・高松市震災対策総合訓練の連絡窓口 三好会長
- ・高松市趣味協会の理事 三木副会長

もう1点、毎年恒例の市役所ロビー展が10/19～21の間ありました。今回、香川クラブは出展なしでした。また、28年度からは瓦町フラッグに会場が移る予定だそうです。

最後に市原さんより、会報誌発行費用の報告があり、4月～10月号の4回で約4万円の支出となりました。なお、詳細は年度末の会計報告にて報告します。

【参加者】

JA5AHM/JA5TFJ/JA5TOP/JE5PBO/JG5JXW/JH5EZB/JH5LYW/JI5VUZ 8名

2015 全日本 ARDF 競技大会・2016 世界 ARDF 競技大会の選考

JH5LYW

全日本 ARDF 競技大会が 11 月 14・15 日に琵琶湖の東側に位置し、通称"近江富士"の愛称で親しまれている三上山がある「希望が丘文化公園」内で開催されました。

我がクラブからは選手として 6 名、応援 2 名の総勢 8 名で、四国各地からの各局と合流して 4 班に分かれて参加しました。

第 1 日目は 3.5MHz 帯の部。

受付時ぐらいから雨足は強くないものの嫌なコンディション。

私は、20 組中の 14 組でスタート順位としては申し分なし。地図を受け取ると"近江富士"が真ん中にドーンとそびえ立っており一番不得意な地形。

立ち止まってしっかり計測すればよいのに、いつもの悪癖が出てろくに計測せず「あー、左回りだな」と決め付けて、一番強い第 5 TX を目指し難なくゲット。

気を良くして次の目標である第 1 TX へ。これもほとんどロスなくゲット。

残りは第 3 TX のみなのだが、ここへきて位置が絞り込めずウロウロする羽目に。

小高い尾根に上がりよくよく計測すると、何と今いる所とは正反対斜面方向みたい。

「これなら 1→5 の方が良かった」と悔やんでも後の祭り。素直に引き返せばよいものを、「一旦山を降りて回るほうが」と、地図を見ず一目散に山を駆け下りると強い信号が入感。「なーんだ、こんなに近かったのか」とよく信号を聞くと、それは第 2 TX ではありませんか。じゃ第 3 TX はさらに山を回る必要があると判断。つくづく己の未熟さを思い知らされました。何とか第 3 TX を見つけたときはスタート地点から"近江富士"をほぼ半周。

帰りの道をどう取るか、山道よりは麓の道路が早いと判断し、また山を降りることに。それからゴールまでただひたすら走るのみ。かなり急な山道を登ったり下ったりしているため、足取りも重く残りの半周を回って、結局"近江富士"をちょうど一周してしまいました。競技終了後、近くのホテルに移動してちゃんこをつつきながら、各自反省しきりでした。



第 2 日目は 145MHz 帯の部。

曇ってはいるものの雨はなく、まあまあのコンディション。

スタート順位は 22 組中で第 1 組。ほとんどの人が嫌がる組が見事に当たってしまいました。競技エリアは公園と周りの小高い山。前に誰も居らず、昨日の反省もあり 5 分間じっくりと計測しました。ところが、何の反射を拾ったのか第 5 TX が一番左に聞こえ、1、

2, 3, 4 の順に聞こえたので、まず第 5 TX を目指して山を登りだしました。

一緒にスタートした連中がまっすぐ林道を走っていくのを見ながら細道に入り、当初目指した方向に向かっていると、だんだん道が不明瞭になりついに藪に。稜線まで上がれば道があるはずだからと藪を掻き分け何とか稜線上の道にたどり着くと、目指す第 5 TX

の信号が弱い。「なんでー？」と思わず独り言。仕方ないので稜線伝いに進みながら探索していると、第1TXがかなり近いとわかり、目標を変更して第1TXをゲット。第5TXは下の方から聞こえる。とりあえず下りなければと思い山道を下っていると、同じ組の連中が上ってくるのに遭遇。「あちゃ、彼らは5を取ってから上ってきているんだ」と、内心ショックでした。下の林道まで降りると、早や2組目の人たちとも遭遇。「今日もまたミスったかなあ」と思いながら、第5TXを計測するが信号が弱い。途中の三叉路からまだ下ではないかと判断して引き返し、さっき居た道のほぼ真下ぐらいで待機。信号が出だしたので計測すると、やっぱりさっき居た場所方向から聞こえてくる。「一体なぜ？」って思いながら、また元の位置へ引き返し、山の方向や谷の方向を目で探すが、それらしい脇道も雰囲気もない。「もう一回聞いてわからなければ、第3TXから帰りに探そう」と次の信号を待っていると、信号は強くないものの直ぐ上方向から聞こえ出しました。藪を掻き分け山を少し登るとTXを確認。やっとの思いでゲットし、目指すは第3TX。最初から地図の一番奥とわかっていたので、ただひたすら林道を走りすんなりとゲット。



それからまた公園中央を通っているメイン道路をゴール目指して走ります。昨日の疲れもあり、今日も山を登ったり降りたりしたので、思うようには足は進みません。ゴールを目指しながら「5番で3回も聞いて15分もロスしたから、3位以内は難しいだろうな。たぶんトップは1時間切っているんだろうな」なんて考えながらゴール。時間も早いのでゆっくり風呂に浸かりながら、役に立たない反省をしました。

3.5MHz 帯の部(11月14日) 雨				
クラス	成績	コールサイン	所要タイム	獲得TX
M21	4位	JG5OBX	1時間23分39秒	2個／5個中
M40	2位	JF5MED	1時間37分28秒	3個／4個中
M50	7位	JG5WTP	1時間18分33秒	2個／4個中
M60	5位	JH5LYW	1時間40分00秒	3個／3個中
	17位	JI5XTP	1時間31分53秒	2個／3個中
M70	4位	JA5UVT	1時間29分44秒	2個／3個中

<応援> JH5PRJ, JI5CAE (太文字は入賞者)

145MHz の部(11月15日) 曇り				
クラス	成績	コールサイン	所要タイム	獲得TX
M21	失格	JG5OBX	2時間09分54秒	2個／5個中
M40	9位	JF5MED	1時間55分50秒	2個／4個中
M50	4位	JG5WTP	1時間51分00秒	3個／4個中
M60	1位	JH5LYW	1時間19分48秒	3個／3個中
	23位	JI5XTP	1時間53分39秒	1個／3個中
M70	8位	JA5UVT	1時間44分35秒	2個／3個中

冷静になって考えると、最近の大会でよく使用される”ヘイローアンテナ”は、アンテナの設置状況や計測する角度でかなり信号強度が変わる特性があるのをすっかり忘れていて、第5TXは設置されたアンテナのほとんど真下で計測していたため、近くにいるにもかかわらず信号が弱く戸惑ったように思います。

ARDFに本格的に参戦しだしてちょうど20年目。初めての全日本大会1位に自分でもビックリしました。

大会も全て終わり、今度は恒例?の観光です。毎年、これが楽しみの一つでもあります。今回は三重県にある”なばなの里”のイルミネーション見学ツアー。

所用で大会終了後にすぐ帰路に着いた局を除く、総勢11名が2台の車に分譲しての移動です。正直、みな疲れているので「帰り道ならともかく、まだ三重の方まで行くの」との不満や「セットしてくれた方に悪いし、ホテルもそちらで取ってくれてるから」とか言いながら2時間余り走って、何とか”なばなの里”に到着しました。

金券付入場料の高さにビックリ。人の多いことにまたビックリ。

「まあ、せっかく来たんだから入ろう」と入場してまたまたビックリ。

光と幻想の世界に全員ウットリ。途中不満を言っていた人のほうが、むしろ光のトンネルや、メイン会場では今年のテーマ「アルプスの少女ハイジ」に釘付けです。

「食事時間の予約の関係があるから、ぼちぼち行きますか」って声をかけても「もう少し待って」と動こうとしません。

出口付近のお土産売り場で、それぞれ入場券についている金券分の買い物をして、四日市市にあるホテルに移動しました。

「行ってよかったね。また来たいね」などと、来る途中での不満は何処へやら、大満足の様子でした。

ホテルのすぐ横にある、海鮮料理のお店で舌鼓を打ちながら大会の反省会や”なばなの里”のイルミネーション、来年ブルガリアで開催される世界大会についての話題や忘年会それに練習会を兼ねた恒例の新年会

の話題、近年中に回ってくるであろう全日本大会の四国での候補地の事など、ワイワイがやがやと話が尽きず、ホテルに帰るとYL方と沈没組を除いて2次会となり大はしゃぎをし、風呂に浸かり暖まってベッドに入ったのは1時を回っていました。

翌朝、遅い食事を取って帰路につきました。

途中、淡路大橋の真下にある道の駅に立ち寄り、昼食を兼ねお土産を購入してわりと早い時間に帰宅しました。

楽しかったこと、面白かったこと、感動したこと、悔しかったこと、辛かったこと、悲しかったこと。いっぱいいっぱい思い出を詰めて、今年的全日本大会は終了しました。



日本一周むせん旅（四国編）

JI5XTP

全国には道の駅が 1079 駅あり、四国には 84 駅ある。移動運用するには効率的に移動するためルートを決めなければならない。在職中に香川県と徳島県の道の駅はすべて訪問していたので、今回は高知県 23 駅、愛媛県 28 駅での移動運用を計画した。

移動ルートを決める資料として地図上に道の駅が網羅されている「JAF ドライブマップ 四国」を参考にして、高知県は室戸岬から足摺岬に向かうルート、そして愛媛県は佐田岬～松山～今治～西条から川之江に向かうルートにした。



移動運用は道の駅での交信だけでなく、机上でのルート計画も楽しみの一つだ。効率よく移動するために地図上の道の駅を色分けしながら訪問順を決めていく。道順が決まれば B 5 ノートの 1 ページに四角の枠を 3 つ作りその枠内に道の駅の情報「道の駅名・道の駅番号・JCC(G)コード・住所・電話番号そしてグリッドロータ」を書きこむ。その情報は運用中に問い合わせがあった時や運用後に交信データをパソコンに入力をする時に必要になるからだ。また同じ情報をプリントア

ウトし、XYL に渡しておくで移動中の場所の確認や次の移動地が確認できるので安心出来ると思う。

移動ルート計画が終われば移動 1 日前に持参品を車に積み込む。以前移動運用したとき、移動地に着きアンテナ等を設営し発電機から電源を接続しようとするで延長コードを忘れてきて運用できなかつた苦い経験がある。今回から持参品チェックリストを作成し、持参品をチェックしながら積み込みこんだ。無線機やアンテナなどはいつも車にセットしているので心配ないが発電機・ガソリンタンク・ポータブル電源・衣類・食料品・給水タンク・排水タンク・寝袋・枕・傘・イス・地図・ログ帳などは普段は車から降ろしているで注意が肝心である。

移動地に着くとまず駐車スペースを探す。第 2 駐車場がある場合はそつちに車を移動する。駐車場が狭い場合は駅長に挨拶をして移動運用をする許可を得る。許可をもらっても駐車場が満車になると早めに運用を切り上げるようにしている。

車を駐車スペースに駐車するとルーフキャリアから脚立を下ろしアンテナを設営する。今回は組立てが簡単な 5.4m のセンターローデングの垂直アンテナを使用した。以前のアンテナは 10m の釣り竿に 9.5m のワイヤー＋アンテナチューナだったが、あまりにも威圧感があるので他人の目を気にしながら運用をしていた。だがこのアンテナは 3.5MHz から 50MHz までの QSY が瞬時に出来るから好きなアンテナの一つである。



アンテナの設営が終わると電源をセットする。どこの道の駅でも駐車中のアイドリングや他車に迷惑をかける行為を禁止しているでポータブル電源を使用して運用をする。ポータブル電源は最大 1 時間 30 分位運用可能だが、時折何の前触れも無く充電不足の警報ブザーが鳴ることがある。そんな時はすぐ発電機に切り替える。発電機を始動させることは禁止要綱に入っていないが申告すると駄目だと言われるだろう。発電機を使わず 2 時間くらい運用するにはどうするかの課題が出来た。

昼間に運用する場合はハンドルの上に加工した平板を置きその上にログ帳をのせる。夜間の場合は車内にテーブルを作っている、そのテーブルに無線機のコントロール部とパドルそしてログ帳をのせて運用する。暗くなると車内に取り付けてあるLED照明を点灯して明るくする。

いよいよ運用だ。まず7.011MHzをワッチする。誰も出ていないのを確認してCQをだす。7MHz帯の中心周波数を7.011MHzに合わせており、そこから±2kHzの範囲で運用しなければSWRが極端に悪くなる。一番困るのがワッチしたときは誰も出ていないが、コンディションが上がるにつれQRMになることだ。QRMになると移動局の弱点が露呈する。特に固定局との混信になると受信が出来づらくなり、やむなくQSYをしなければならない。



インターネットのJクラスターにコールサインがアップされるとすぐパイルアップが楽しめる。そしてパイルアップをうまく捌きながら交信する。これが移動運用の醍醐味だ。交信時間は大体1時間から2時間で終わる。交信が終わるとアンテナ等を片付けて、施設内の道の駅スタンプを探しQSLカードに押印をする。スタンプが大分くたびれているうえにスタンプ台のインクも少なく、押印しても印字が薄くなるので持参したスタンプ台を使う。また最近どこの道の駅でもスタンプラリー用の用紙が置いてありスタンプラリーを楽しんでいる人もいる。QSLカードが多い時などはスタンプ台を独占しないように気をつけながら押印をする。

運用が終わるともう一つの楽しみがある。それは一人旅をしている人、キャンピングカーや自転車・バイクで旅をしている人と交流することだ。二人旅をしている大半は定年退職をして第二の人生を奥さんと楽しんでいる人が多い。そして話していると色々な旅の楽しみ方を教えてくれる。また四国には四国88ヶ所参りがあるので話題には事欠かない。歩きで88ヶ所参りをしている人に会い、旅話を聞いていると時間がたつのを忘れる。

ログの整理は車中でログ帳からログ管理ソフト「ターボハムログ」に転記する。転記するときに注意すべきはキーボードばかり見て打ち込んでいるので、よく転記間違いをしていることだ。誤転記を無くするため自宅に帰って、もう一度「ターボハムログ」を立ちあげ、転記したデータをひとつひとつ確認していく。交信局数が多いときは確認作業に4日間くらい要する大変な作業になる。確認が終わればQSLカードに印刷をする。QSLカードは印刷の失敗やコールサインのミスコピーがあっても後から再発行が出来るように5枚位余分のQSLカードを保管するようにしている。

予定していた道の駅移動が終わり四国全制覇と思いきや徳島県の「貞光ゆうゆう館」、「にしいや」と香川県の「空の夢もみの木パーク」、「瀬戸大橋記念公園」、「香南楽湯」、「しおのえ」、「津田の松原」が無いから移動をお願いしたいとのリクエストメールが届いていた。それならば再度徳島県と香川県を移動しようと計画して実行した。

移動運用でのトラブルは送信中に無線機(IC-7000M)の電源が落ちたことだ。何度も電源が落ちるので運用をすることが出来ず、原因究明の為一度自宅に帰ることにした。何かの回り込みと思い電源部やコントローラ線部やアンテナ部にコアーを挿入して送信したが症状が再現したりしなかったりで、なかなか原因が特定できない。当局の技術力ではここが限界と諦めて新しいリグ(IC-7100M)を購入した。新しいリグで試験すると何度やっても電源が落ちない。再度IC-7000Mに接続して送信するとやっぱり電源が落ちる。IC-7000Mでは電源が落ち、IC-7100Mでは落ちない。原因究明を諦めていたとき、

何気なくイヤホーンを外して送信してみた。すると電源が落ちない。イヤホーンにコアーを挿入して送信したがやっぱり電源が落ちる。今度は別のイヤホーンを接続して送信すると電源が落ちない。なんと回り込みの原因は特定のイヤホーンだった。とんだ散財だったがサブグリグが手に入ったのと色々勉強出来たので良しとした。

あと改良したいことはアンテナ関係だ。垂直アンテナだとお空のコンディションや強風時に釣り竿が左右に揺れ、送受信する時の信号に浮き沈みが出て、せっかく送ってくれた信号を受信すること出来ず歯がゆい思いをする時がある。ダイポールアンテナやメーカ製のVダイポールなどを使えば改善されるのだが道の駅の駐車スペースでは他車に迷惑がかかり無理だ。何か手を考えなければ。

今回の道の駅移動で思ったことは、移動地の下調べを念入りにすることだ。特に山中の道の駅には不定期な休館日がある。交信しても休館日でスタンプが押せないことだ。近場であれば翌日に再訪問することが出来るが遠くて再訪問が叶わぬ時もある。



ほとんどの道の駅には産直ブースがあり地元の産物や食べ物を置いてある。本来移動中の食事は自炊を考えていたのだが、自炊する方が高くなるので道の駅やコンビニで購入することにした。コーヒブレイクは自前のコンロでお湯を沸かしよく飲んだ。

風呂は移動途中に入浴施設があれば時間を問わず利用した。最初は夕方の入浴を考えていたが行けども行けども入浴施設が無く3日も入らなかったこともあ

った。あまりにも身体が臭うので道の駅のトイレでバケツに水をくみ身体を拭くこともあった。

衣類は3着持っており洗濯はコインランドリーを利用した。コインランドリーが無いときはバケツに水を汲みバケツの中で洗濯をして車内に干した。車内ではなかなか乾かず滴がたれるので畳の上にブルーシートを敷いて畳が濡れるのを防いだ。

車中泊も最初は馴れず、少しの物音にも敏感に反応してなかなか寝付かれず寝不足になった。1週間もすると馴れてきたのか熟睡ができるようになった。睡眠は21時から寝て睡眠時間を8時間



とった。また日頃の出来事は新聞がないので情報はスマートホーンを利用した。

移動スケジュールを1日3駅にしてが、観光はあまり出来なかった。ただ移動地で接した人の温かさは素晴らしいものだった。

今回の「四国 道の駅」移動運用に費やした日数は25日間で「道の駅」81駅（小豆島を除く）を訪問した。交信局数5,191局だった。



「佐田岬灯台」

クラブ報の原稿依頼及び送付先

身近な出来事、旅行記、自身のハムライフ、掲載要望などのジャンルは問いません。
原稿サイズ：B5サイズ 出来ればWordで作成しメール、電子メールが無い場合はfaxか郵送。

送 付 先：E-mail

Fax

郵 送 先：〒761-

★★★ 新入会員募集中 ★★★

J A R L 香川クラブでは新会員を募集しています。

今年はクラブ結成67年(1948年10月結成)になります。

そこで、更なる飛躍と新たな歴史を築いていかなければなりません。
クラブに新風を吹き込むと同時に、活性化のためにも新入会員の募集にご協力ください。

*お知らせ

J A R L 香川クラブでは、会員の実態を把握するため、免許状記載事項に変更があったり、新たに無線局の免許状を取得された方は、その都度、お知らせくださいますようお願いします。

将来のインターネットサービスに対応して、現在「電子メールアドレス」を取得している方は、差し支えなければ連絡下さい。

前年度までの会費が未納の方は早急に納入をお願いします。
また、平成27年度会費につきましても早急に納入をお願いします。

J A R L 香川クラブ報

発行責任者	J H 5 L Y W	三 好 伸 幸
編 集 者	J A 5 T F J	横 田 寿 夫
	J A 5 T O P	平 賀 正 明
	J I 5 V U Z	市 原 義 博
	J G 5 J X W	坂 井 進 史